

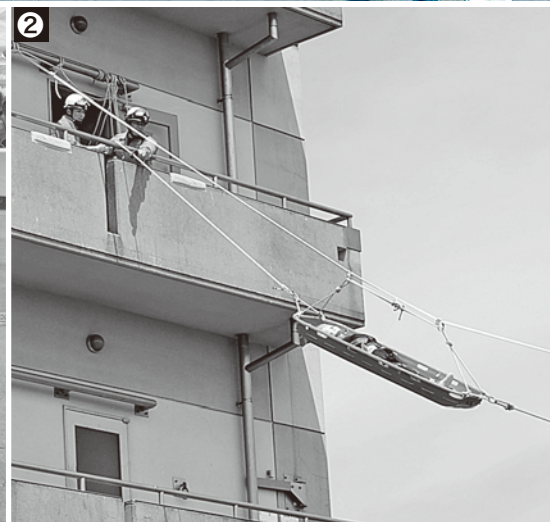
矢巾町消防演習が6月12日、岩手県消防学校を会場に行われました。町消防団員（藤原由巳団長）や自治会の自主防災組織など、消防関係者約540人が参加し、日ごろの訓練の成果を披露。町内外からたくさん詰め掛けた観覧者に火消しの熱い心意気を示しました。

矢巾町消防演習

～日ごろの訓練の成果を發揮～

午前8時、ラッパ隊のファンファーレとともに演習開始宣言。特別点検では、人員・姿勢・服装や機械器具の点検、婦人防火クラブによる炊き出し訓練、一糸乱れぬ行進を披露した部隊訓練、本番さながらの火災想定訓練、幼年・少年クラブによる元気いっぱい演技、放水訓練などが披露されました。

講評官を務めた岩手県消防学校の千田利之校長からは「極めて優秀」と最高の評価。参観した皆さんは、有事に備えて防災体制が万全であることを確認するとともに、防災意識を高める機会となりました。



①女性消防団員による初期消火訓練 ②矢巾分署隊が4階に逃げ遅れた人を救出
③防災ヘリが屋上に逃げ遅れた人を救出 ④出動した町消防団による一斉放水

火災想定訓練

「県内全域に強い風が吹き荒れている中、住宅および隣接する8階建てのビルから出火。住宅は初期消火で鎮火したが、ビルは消火に至らず4階と屋上に逃げ遅れた者がいるとの通報から、岩手県防災航空隊と盛岡南消防署矢巾分署が連携して救出。矢巾町消防団は消火活動を行う」という状況を想定し訓練が実施された。



消防団員募集!

熊本地震や平成25年8月の大雨・洪水災害、東日本大震災など、身近なところで災害が起きています。そのような時、住民の皆さんが力を合わせて自らを守る消防団のはたらきが重要な力となります。消防団員は、法律で定められた非常勤特別公務員であり、他の職業と兼職することができます。実際、現在活躍している団員のおよそ8割がサラリーマンであり、年齢層もさまざまです。主な活動内容は、火災防止の広報活動や訓練などですが、実際に火災や災害が発生した際に消火活動や災害防護要員としても活躍します。町内在住の健康な18歳以上の男女であればどなたでも消防団員になることができます。皆さんも一緒に、地域を守る活動をしてみませんか。



入団希望の方や詳しい内容が知りたい方は、お近くの消防団員、または役場総務課防災安全室(611-2708)までお気軽にご連絡ください。

- ⑤威風堂堂たる分列行進 ⑥統監の高橋昌浩町長が機械器具を点検 ⑦ラッパ隊による勇壮な演奏
- ⑧隊長の号令で一糸乱れぬ動きを披露した部隊訓練 ⑨機敏で正確な動きを披露した操法訓練
- ⑩「火遊びをしません」と誓った幼年消防クラブ ⑪煙山小学校の少年消防クラブによる華麗なマーチング

町へ防災用品を寄贈

防災用品などの製造、販売を行う株式会社ニード(東京都)が、町へ防災用品(避難所に設置するパーテーション、仮設トイレなど)を寄贈しました。

消防演習では寄贈いただいた防災用品の展示、設置訓練を実施。各自治会の自主防災組織が、避難所などへの設置に備えて組み立ての手順を確認しました。



- ①同社朴田忠美会長(写真右)に町から感謝状が贈られました
- ②仮設トイレの設置方法を確認